

OKINAWA PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



# かけかけ

沖縄県立看護大学広報誌

開学  
20周年

2018  
VOL.30



## CONTENTS

入学式	p.02
新入生オリエンテーション	p.04
渡嘉敷島研修	p.06
オープンキャンパス	p.08
国際交流	p.10
看大祭	p.12
卒業式	p.14
のぞいてみよう！看護大学	p.16
在学生の声	p.18
地域貢献だより	p.20



### 「かせかけ」とは

締（かせ）とは紡いだ糸を巻く道具。この道具を使って織物用の糸を巻いていく様子を「かせかけ」と言います。愛する人を想って糸を巻く、そのような情景を描いた踊りは、琉球古典舞踊、「七踊り」の一つにも数えられています。大切な想いを丹念に紡ぎ、そして形にしていく「かせかけ」のテーマは、学びを重ねながら成長する学生たちの大学生活にも通ずる部分がありそうです。広報誌「かせかけ」では、そのような学びの一コマ一コマを取り上げてお伝えします。

# 2017年の主なイベント

**4月** 入学式  
新入生オリエンテーション



**5月** 渡嘉敷島研修



**7月** オープンキャンパス  
JICA研修



**8月** ハワイ研修

**9月** 大学院入試  
看大祭



**10月** 後期授業開始



**11月** 特別選抜入試

**1月** 大学入試センター試験



**2月  
3月** 一般選抜入試

**3月** 卒業式・修了式

平成29年度入学式

# ようこそ看護大学へ!!



大学の新しい一頁がはじまる

## 新入生へのメッセージ

沖縄県立看護大学 学長 嘉手苅 英子

皆さんは、社会を支える多くの職業の中から看護の道を選び、ここに集っています。看護は人間の命や生活に密着した仕事ですので、社会の変化の影響を強く受けます。現代では、人々の生き方や価値観が多様化すると共に、健康で幸せを望む人々の普遍的な願いはより強くなってきました。病気や老化によってどのような健康状態になってしまっても、人間としての尊厳が守られ、その人らしく生きていくる社会の実現が求められています。ですから、皆さんには、広い視野から人々の健康を支え、将来にわたって社会を変革していく役割が期待されています。

これから始まる大学生活を通して、他者の事を自分事として思う感性と、事実をとらえその意味を考える知性が育まれることを願っています。

平成29年4月4日

# 人生を実りあるものに

看護学部長 大湾 明美

多くの情報から取捨選択し、本学で看護を学ぶことを決意されたことを歓迎します。吉田松陰は、人間の一生を春夏秋冬に例え、「春種し(幼少期)、夏苗し(青年期)、秋苅り(成人期)、冬藏す(老年期)」と表現しています。青年期には、自分は何をやりたいのか、自分は何になりたいのかなど、悩み・迷い続けます。そこから逃げることなく、真剣に向き合って、収穫できる秋が迎えられます。

本学教職員は、新入生の看護の「苗」がよりよく育つよう、光と水、肥やしを与えます。



期待を胸に入学した新入生、新たに先輩となった2年次の学生に  
大学生活の感想や抱負などを聞いてみました。



## 新入生の声

### 1年次 沢田 明香里

私は沖縄県立看護大学に入学する目標が叶い、自分の夢に近づけたことを嬉しく思います。テスト勉強や早期体験実習など多忙な時期もありますが、仲間と協力しあいながら、看護を学べる楽しさとありがたさを実感しています。これからも理想の看護師像を目指して、実りある学校生活を送っていきたいです。

### 1年次 木山 艇

入学当初は、新しい環境に慣れず緊張していました。しかし、同じ目標を持つ仲間と助け合いながら勉学に励み、様々なサークルで多くの先輩と交流できる日々はとても充実しています。私は、沖縄県立看護大学に入学することができた事をとても幸せに感じています!!

## 在学生の感想

### 2年次 仲本 仁香

沖縄県立看護大学に入学して2年目になりました。実習では、色々な職種の方とかかわり自分を成長させることができます。大学での勉強や課題は大変ですが、同じ夢を目指す友達と一緒に学校生活を送るので、とても楽しく充実しています。

# 新入生オリエンテーション

初々しさの残る会話に、絆が芽生えるオリエンテーション

今年は、うるま市石川青少年の家で行われました。  
ハイキングもあり、自作のカレーも❀



主に新入生と教員が参加するオリエンテーション。  
共同作業を通してお互いの絆を深められたようです。



VOICE  
**01**

## 1年次 上門 杏奈

待ちに待った宿泊オリエンテーションの日がやってきました。名前と顔が一致しない中、同じグループの人を探し、その後の登山やカレー作りなどを共にしました。みんなで同じ事をして会話が弾み、また先輩方とも交流し色々な話を聞くことが出来たのでとても楽しめました。このオリエンテーションを通して沢山の人と話をしていく中で、私の地元ではあり得ないような話を聞け、改めて人には色々な考え方があるのだと知り、自分の視野も広がりました。これから約4年間が楽しみです。





## VOICE 02

### 1年次 我那霸 隆俊

沖縄県立看護大学には新入生の交流会として宿泊研修があります。この宿泊研修では先生や先輩と接し、新入生同士で協力しながら仲を深めていきます。今年度の新入生宿泊研修は沖縄県立石川青少年の家で行われました。そこでは自然を感じながら登山ができ、頂上へ到着したときは達成感を得られます。また、野外炊飯では協同でカレーを作ることで、自分で考え、積極的に行動することのできる良い機会です。これからの学生生活において必要な能力を身につけられる場となっています。



美ら海を越え、東の間の共同生活

## \*渡嘉敷島研修

学生の実行委員が自発的に企画・運営した渡嘉敷島研修。  
異なる学年、そして教員と学生の貴重なふれ合いの場となっています。

### VOICE 01

#### 渡嘉敷島研修実行委員長 李 原徳

平成29年5月7日から2日間、学生172名、教員3名で渡嘉敷村での渡嘉敷島研修が行われました。

この研修の目的は「学生間、学生と教員間の交流」「身の回りの自然について考える機会にする」などで、トカシクビーチでの海洋研修や学生と教員が協力してカレー作り、BBQ、レクなどを通して親睦を深めることができた研修になったと思います。

また、ビーチにおいてはマリンスポーツを通して地元沖縄の海に生息する魚など自然についても考えるきっかけになりました。

さらに、イベントでも学生が普段、講義以外では話す機会の少ない教員とレクをしたり、プライベートの話をしたり親睦を深めることができたと感じています。レクにおいては、実行委員だけで盛り上げたのではなく、参加した学生全員で盛り上がったおかげで実行委員もみんなで研修を楽しむことができました。抽選会では豪華景品を準備し喜んでもらうことができました。今回の研修を通して、学生間、学生と教員が親睦を深め、今後の学生生活におけるより良い学びの環境形成に役立てることができたと感じています。

今年も沢山の参加ありがとうございました。来年はもっと多くの学生が参加し盛り上げていきましょう。



## VOICE 02

### 1年次 我那覇 命

気をつけて下さい。騙されてはいけません。この渡嘉敷島研修は研修とは名ばかりのバラダイスです。キレイな海で何時間も遊び続けなければなりません。また、BBQや豪華賞品がもらえる抽選会、UNOやトランプの許可された夜など、大学のイベントとは思えない内容です。

もちろんこの1泊2日はペンさえも触れません。ただただ楽しい思い出になりました。



## VOICE 05

### 4年次 神谷 春奈

渡嘉敷島宿泊研修では、グループ行動をすることが多く、グループメンバーは全学年を混ぜてランダムに構成されています。そのため、普段関わることが少ない先輩や後輩、また引率の教員と授業以外で関わる機会を持つことができます。

特に、先輩や先生から学生生活の過ごし方や将来の話を聞き、楽しみながらも貴重な時間を過ごすことができました。



## VOICE 03

### 2年次 慶田 里佳子

5月の初めにあるこの研修は、海洋研修やバーベキュー、抽選会や野外炊飯などを通して、同学年同士はもちろん、他学年の学生や教員との親睦を深めることができる楽しいイベントです。海洋研修では自然の素晴らしさを実感することができ、バーベキューや野外炊飯では学生同士と教員で協力しながら楽しく食事ができたと思います。

1泊2日の短い期間でしたが、良い思い出がたくさん出来ました。

## VOICE 04

### 3年次 知念 亜紀

私は渡嘉敷島研修に毎年参加しています。なぜなら、綺麗な海でマリンスポーツやバーベキュー、レクなど楽しめるのはもちろん、それによって横・縦の関係が強くなるからです。他学年と関わることで情報交換ができたり、様々なことを学ぶことができます。

楽しいだけではなく、成長できる2日間だと思います！



大学の魅力を、在学生が伝えるオープンキャンパス

## 看護大学 2017年 オープンキャンパス



高校生を中心として、毎年大勢の学生さんが看護大学のオープンキャンパスを訪れます。  
キャンパスツアーの誘導など、在学生がホストとして大活躍！



### 在学生との フリートーク

VOICE  
**01**

准教授 村上 満子

平成 29 年 7 月 22 日（土）のオープンキャンパスでは 400 名あまりの来校がありました。

今年は人気の大学紹介が午前午後の二部構成となり、午後はゆったりとご参加いただきました。当日は県政テレビ「うまんちゅひろば」の撮影が入り、ご来校いただけなかつた方にも本学を紹介できました。在学生とのフリートークは毎年好評です。勉強の仕方や一人暮らしのコツなども先輩に気軽に聞くことができます。来年も楽しみにお待ちください。



### 血圧測定

VOICE  
**02**

1年次 山川 優代

私は、今年のオープンキャンパスの『血圧測定ブース』のボランティアに参加しました。血圧測定は、人によって感覚が違い、脈をとったり聴診器で聞き取ったりするのが非常に難しかったです。しかし、高校生に看護大学でのキャンパスライフや看護のよさを伝えられ、看護にもっと興味を持ってもらえてとても嬉しかったです。



## 『命を救う・AED』 ボランティア

VOICE  
**03**

4年次 青木 大志



「命を救う・AED」のブースでは、救急時に行う心肺蘇生法やAEDの使い方についてレクチャーし、その後、心肺蘇生法の体験もしてもらいました。

体験を通して医療の専門家でなくても命を救うことができる学んでほしいと思っていたので、参加者が戸惑いながらも真剣に心臓マッサージを行う様子や、コツをつかんでいく様子を見てうれしく思いました。



<赤ちゃんお世話体験>

血圧測定や赤ちゃんのお世話の  
シミュレーションも体験できます！



# 国際 交流

異国の人々、文化とのふれ合いはかけがえのない学びの場

国際交流室運営委員会が中心となって、本学では様々な国際交流イベントが行われています。

## ハワイ研修に参加して



国際的視点、人の温かさ、地域に即した看護の大切さなど、得られるものが沢山ありました。

VOICE  
**01**

### 3年次 津嘉山 由樹

夏季休業中のハワイ研修では、カウアイ・コミュニティ・カレッジやハワイ大学での講義、医療施設見学、ホームステイなど、私たちにとっての研修は毎日の内容が濃く、充実したあっという間の時間でした。なかでも、シミュレーションセンターの見学では、充実した看護教育に驚くと同時に、それだけの技術がなければ患者さんと接し、医療を提供することは難しく、看護職者の責任の大きさを感じました。また、今回の研修では、国際的視点、人の温かさ、地域に即した看護の大切さなど、得られるものが沢山ありました。

ハワイ研修で学び、多くの人に支えられて研修を終えることができたことをうれしく思います。

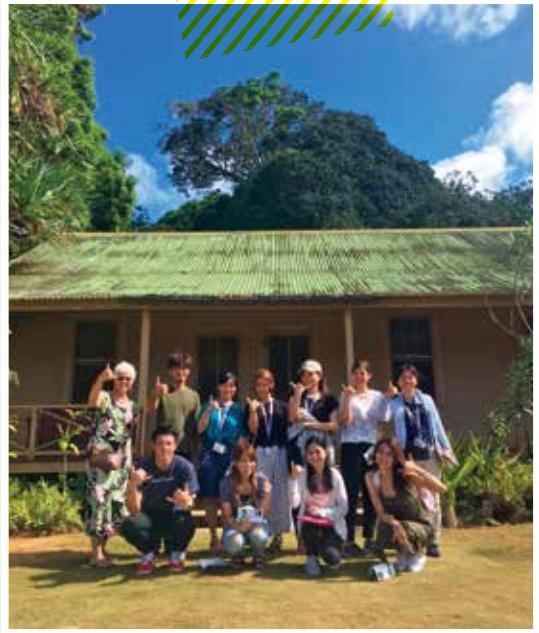
VOICE  
**02**

### アメリカと日本の違いを学び、視野を広げることができた3週間。

### 3年次 與儀 亜香里

私たちは夏休み期間中、ハワイのカウアイ島とオアフ島で19日間の研修を行いました。KCCやUHマノア校では、フラダンスやロミロミマッサージを通して、ハワイの文化や歴史を学んだり、講義では日本とハワイ（アメリカ）の医療の違いを学んだり、シミュレーションを体験したりしました。学校以外でも、島内の病院を見学したり、ビーチデイといってお年寄りとビーチで散歩やピクニックを楽しんだり、週末にはホームステイなどを体験しました。学校生活では経験できない、現地の人々や文化に触れることで、アメリカと日本の違いを学び、視野を広げることができたので良かったです。

国際感覚を持った  
看護師の活躍の場は  
これからも広がるはず



## 沖縄県立看護大学海外研修セミナー —ハワイ 2017—に参加して

VOICE  
**03**

### 引率教員 當間 紀子

学生の夏休み期間中に開催されるハワイ研修セミナーに引率教員として参加しました。今回学生の参加は 9 名、引率教員は私を含め 2 名の参加でした。コミュニティカレッジとハワイ大学マノア校での研修で、カウアイの受入体制は、アットホームな感じでカウアイの気候や雰囲気、文化は、どことなく沖縄に似ていました。

カウアイ・コミュニティカレッジでは、看護に関する研修（保健医療福祉制度やシミュレーション学習）、その他には Hula、LomiLomi マッサージ、ホームステイ、マヘロナホスピタルのレクリエーションへのボランティア参加など多くのことを体験し、学ぶことができました。ボランティアに参加したことが、地元の新聞に学生・教員の全員の名前と写真付きで掲載されました。ハワイ大学マノア校では、沖縄からの移民の歴史、米国の医療保険制度、看護師の社会的地位、終末期医療の事前指示書（POLST）に関することなど、日本と比較して考える事ができました。

私の語学力のなさに学生も心配だったのか学生たちが行動と共にしてくれたことで、とても和気藹々とした雰囲気で 3 週間を過ごすことができました。

## JICA研修



### 国際交流室運営委員 長堀 智香子

2017年7月26日(水)にJICA研修の一貫として、アフリカ8か国から12名の研修員を受け入れました。マラウイ国研修員の自国における報告と本学学生による英語での大学紹介、グループに分かれての自由討議を行い、学生との交流をメインにプログラムを組みました。この研修プログラムに参加することによる学生の成長を実感しています。

# 看大祭

## 学生が主役の看大祭、想像と創造のイベント

学生会が主体となって看大祭の企画運営を行います。おばけ屋敷から演奏会、飲食ブースまで、毎年様々な趣向を凝らした出し物があります。

看大祭実行委員のメンバーや先生方の力強いサポートもあり  
看大祭を成功へつなげることができました。

VOICE  
**01**



### 看大祭実行委員長 2年次 末吉 洋和

9月9日、10日に『第19回看大祭』を開催しました。私は看大祭実行委員長として看大祭を運営するにあたり業務の全体を把握し、看大祭がスムーズに行われるようサポートするという役割を務めました。看大祭を開催するうえで困る場面もありましたが、看大祭実行委員のメンバーや先生方の力強いサポートもあり看大祭を成功へつなげることができました。

『第19回看大祭』を開催するにあたり、協賛広告をお引き受け頂きました企業の方々、力強いサポートをしてくれた先生方、大変お世話になり、心から感謝しています。また、看大祭にお越しいただいた地域の皆様、深くお礼申し上げます。

学校生活の様子や健康についての知識を  
楽しくおしゃべりしながら学べます。

VOICE  
**02**

### 2年次 大山 康博 長嶺 有真

看護系出店では老若男女問わず誰でも気軽に血圧測定を受けることができます。その他にも正しい手洗いの方法が学べ、身長や体重をその場で測定してBMIの値を出すことができます。また、看護学生が実施しているので学校生活の様子や健康についての知識を楽しくおしゃべりしながら学べます。今年も多くの人が来店して楽しそうに過ごしていました。看大祭にいらっしゃる際にはぜひお立ち寄りください。



先輩・後輩が連携し、助け合い、皆でロビーライブと  
後夜祭を成功させようと頑張ります。

VOICE  
**03**

### 軽音サークル長 3年次 仲里 みのり



私たち軽音サークルは、約20名のメンバーが学年ごとにバンドを組み、好きな曲を演奏しています。毎年9月の看大祭では先輩・後輩が連携し、助け合い、皆でロビーライブと後夜祭を成功させようと頑張ります。今年は全学年のバンドが演奏を披露しました。また、4年次によるアカペラや顧問の教員によるサックスとバンドのコラボ、三線サークルとのコラボなど、前年度とはまた違った盛り上がりをみせていました。来年の看大祭も皆で力を合わせて、楽しんで演奏したいと思います。



学生のアイデアがいっぱいの学園祭。  
子どもから大人まで楽しめます。

沢山の学生が準備の段階から参加し、  
共に考え、作業していくなかで、  
さらに絆が深まったように感じられます。



### 『お化け屋敷』

1年次  
栗国 沙也奈  
吳屋 桃香

VOICE  
**04**

毎年一年次主体で行われているお化け屋敷は、入学して半年も経たないとは思えないほどのチームワークのもと、大成功を納めることができました。夏季休業中にも関わらず、沢山の学生が準備の段階から参加し、共に考え、作業していくなかで、さらに絆が深まったように感じられます。また、お化け屋敷にはストーリー性をもたせ、道具に頼るのではなく、学生主体で驚かす役にまわることで、よりクオリティーの高いものにすることができました。

本番では、多くの笑いと感動はもちろん、  
学生自身の協調性や主体性を身につけることができたと感じます。

VOICE  
**05**

### 後夜祭実行委員 2年次 安室 千馬

今年の後夜祭では、軽音サークルのバンドを始め、ダンスやコントを披露しました。私たち後夜祭実行委員は、夏季休暇期間中、出演者とともに後夜祭を盛り上げるために、話し合いや練習を重ね、本番にベストな状態で臨めるよう努力しました。本番では、多くの笑いと感動があり、学生自身の協調性や主体性を身につけることができたと感じます。また、後夜祭は看大祭の打ち上げとしてだけでなく、学年の枠を超えてみんなで盛り上げる場であり、普段関わりのない他学年とも交流を持つきっかけとなったと思います。最後になりましたが、2017年後夜祭に協力していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。



風ゆるむ頃、仕舞と始まりを迎える卒業生へのエール

# 看護大学 平成28年度 卒業式

看護師、保健師、助産師を目指して学びを深めた4年間。  
卒業生に大学の感想を聞いてみました。



## 私にとっての 沖縄県立看護大学

VOICE  
**01**

卒業生 與世田 花奈

看護大学での4年間は、楽しいことばかりではありませんでしたが、“看護師になりたい”という強い志を持っていましたから、同じ目標に向かう仲間とともに頑張ることが出来ましたし、4年間の中で私は何度も看護師という仕事の素晴らしさを感じさせてもらいました。そのおかげで、大学入学当初に抱いていた看護師になる事への希望や志がぶれることなく卒業の日を迎えられたのを覚えています。

沖縄県立看護大学で素敵な同期や先生方と関わり、様々な事を感じ考える4年間を過ごしてほしいと思います。





## 充実した4年間!

卒業生 宮里 咲希

VOICE  
02

私は3月に沖縄県立看護大学を卒業しました。大学生活で印象に残っていることは、実習です。学年が上がるにつれ領域別の実習が増え、勉強する内容も増えますが、同じ実習グループメンバーと一緒に勉強したり先生から助言を受けたりして学んでいきました。

また患者さんと関わることで自分の看護観や看護の楽しさを知ることもできました。

大学の4年間は勉強することも多く楽しいことばかりではないですが、80人の仲間たちと励まし合いとても充実した4年間でした。

## 教職員に感謝を伝える謝恩会

卒業生 森下 智基

VOICE  
03

謝恩会は、「卒業生がお世話になった教職員に対し、感謝の意を伝える」ことを目的として開く会のことです。今回、卒業生からの余興として、かぎやで風、三線、空手、最後には卒業生と教職員が写った思い出のスライドショーを流しました。余興の合間には、食事をしながら実習や講義、卒論でお世話になった教職員と懐かしい話をしたり、感謝を伝えたりし、卒業生も教職員も思い出に残る楽しい会になったと思います。



卒業生の今後の  
活躍が楽しみですね





# のぞいてみよう！看護大学

看護大学の授業の様子をのぞいてみました。2016年度「ベストティーチャー」に選ばれたお二人の先生は、どんなことを念頭に置いて授業をすすめているのでしょうか。

## 講義紹介①

### 人体の構造と機能

#### 佐伯 宣久 先生

本学の学生は1年次の前期で、ヒトの体の構造（解剖学）と各臓器や器官の機能（生理学）を学びます。例えば“循環器系”の講義では、左心室、右心室、僧帽弁などの心臓の構造に加えて、体の各部位に血液を循環させるのに必要な血管の走行を学び、また、血圧や心拍数を調節する仕組みや心音、心電図について学びます。後期には演習授業があり、人体模型の観察などを行ってさらに理解を深めます。

授業では、看護師として医療現場で必要となる知識を整理し、分かり易いスライドや配付資料を用いて、丁寧に理論的に説明することを心がけています。学生が“科学的根拠に基づいて看護を実践できる看護職者”として活躍できるよう、確かな知識と考え方を身につけてもらうことを目標に授業しています。



#### 1年次 城田 采未

佐伯先生の講義では、毎回、カラーで見やすい豊富な資料を使って授業をしてくださいます。「人体の構造と機能演習Ⅰ」では、講義で学んだ知識を、実際に実践的に身につけられる演習を展開します。疑問に思うことがあると丁寧に回答してくださるので、とても理解しやすいです。佐伯先生の授業で身につけた知識をもとに、看護技術の習得と向上に努力していきたいです。



総合的な知識と  
スキルが身につきます

### 講義紹介②

#### 老年保健看護

#### 田場 由紀 先生



老年保健看護科目は、文字通り、「高齢者を対象とした看護」についての科目です。実際には体験し得ない老年期、つまり「私たちの未来体験」を、講義や演習のなかに工夫して取り入れています。具体的には、“年を重ねたときの私たちのからだ”や、“認知症をわざらった時のわたしの気持ち”を学びます。“過去”に学び、“今”的な高齢者に向き合い、関わり合うことを通して、私たちのために、私たちの身近な人たちのために、“未来”的な高齢者ケアをつくることをめざしています。

あなたが、日頃かかる年配の方は、どのような人ですか？あなたが生まれる前、どのような体験をしてきた人ですか？いつもと違う関心を寄せてみましょう。私たちの知らない世界に連れて行ってくれるはず…。

#### 老年保健看護実習Ⅱ

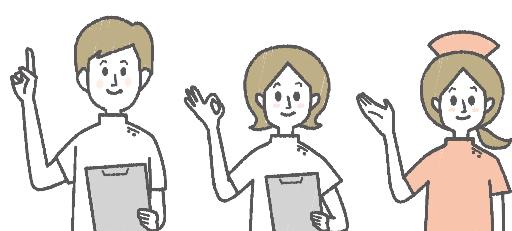
#### 4年次 譜久嶺 夢乃

老年保健看護実習Ⅱでは病院やグループホームで過ごしている高齢者と関わり、看護を学びます。そこでは、高齢者の自立度、健康状態、生活状況を把握するだけでなく、高齢者のこれまでの人生や現在の思いを聞き取ります。また、高齢者を取り巻く人々の思いも把握することで、それぞれが必要としていることを考え、高齢者の尊厳を支えるための看護を実践していきます。

私はこの実習を通して、高齢者の暮らしを支える周囲のサポートの素晴らしさと温かさを学びました。老年保健看護実習Ⅱは、これからの中高齢化社会に欠かせない看護を学べる科目だと思います。

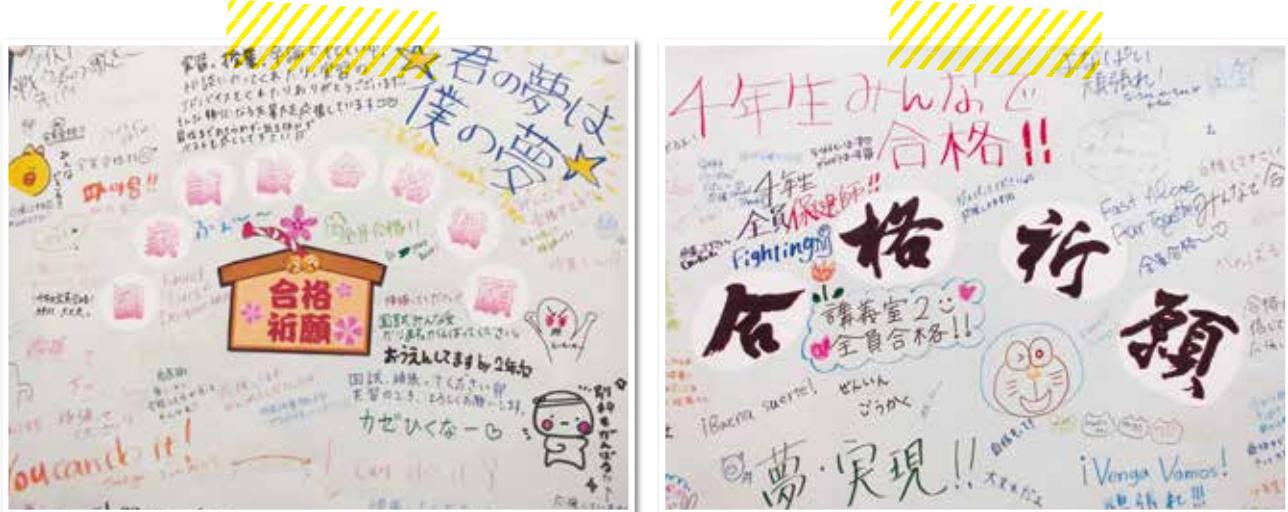


未来に向かって頑張っています！



# 在学生の声

資格試験の合格を目指して、本学では課外講座も開講されます。目標に向かって勉強しながら、ボランティアにも熱心に取り組む学生がたくさんいます。



## 国試に向けて「夏期講座」

### 4年次 砂川 香月

来年の看護師・保健師国家試験合格に向けて、模試の結果から夏期講座の内容を決定し4年次を対象に講座が開かれました。国試に向けて知識とともに意識も高めることができました。実習や卒業論文・演習などまだまだ多忙な日は続いますが、学年全体で切磋琢磨し国試合格に向けて頑張っていきたいと思います。また忙しい中、夏期講習に協力してくださった先生方に感謝申し上げます。



実習開始前のオリエンテーションでは、先輩方から後輩たちへ、実習に向けてアドバイスとエールが送られます。

### 実習オリエンテーションへ 先輩として参加して

VOICE  
**01**

### 3年次 野原 愛月

私が実習オリエンテーションボランティアとして参加しようと思ったきっかけは、私が2年生のころ初めての実習でわからないことだらけで不安があったので、後輩には少しでも不安を軽減してさらに有意義な実習を送ってもらいたいと思ったことです。自分自身も振り返りながら学べることがあったので参加して良かったです。

試験勉強にボランティア、サークル活動  
4年間で挑戦したいことが盛りだくさん



# サークル紹介

地域密着型ボランティアから国際イベントまで、本学では多様なサークル活動が行われています。

## 生命の達人 キラリサークル



### 真栄田 きらり

キラリサークルとは、性や女性の体の仕組み、出産などに興味がある生徒が集まって、生命の誕生に関わる妊娠から出産までの様々なイベントについて互いに知識を深め合うサークルです。主に、行事ごとに展示や妊婦体験や沐浴体験などを実施し、その他に中学校の性教育への参加や学会への参加など学外での活動も行なっています。

## アジア保健医療研究会



### 照喜名 藍寧

サワディーカー(タイ語でこんにちは)、アジア保健医療研究会(通称:アジ保)のサークル長の照喜名です！

アジ保では、国際保健活動、国際交流に興味のある学生が集まり、海外活動の経験があるゲストを招いての講話会や英会話講座を主な活動としています。ちなみに、今年度は台湾で研修を行います。

また、看大祭では自分たちの作りたいアジア料理を作り、販売しています。県立看護大学に入学したら、アジ保と一緒に活動しましょう！待ってます！

# 地域貢献だより

多くの在学生が課外のボランティア活動を通して地域に貢献しています

## 南部医療センター・こども医療センターボランティア よぎっこまつり

VOICE  
**01**

宮城 茉希

ボランティア活動の中で、点滴をしている子どもがスタンドの転倒やチューブの絡まりにより怪我をしないよう、先輩ボランティアの方が気を配っている場面がありました。この場面から、病棟では様々な器具を装着している子どもがあり、一緒に遊んであげることも大切ですが、それ以上に子どもを身の回りにある危険から守り、安全に過ごせるよう注意を払うことが重要であると感じました。この学びを今後の実習などに活かしたいと思います。

## 敬老会



# 2018年度 行事予定

**4月** 入学式  
前期授業開始

**10月** 後期授業開始

**5月** 開學記念日

**11月** 特別選抜入試

**7月** オープンキャンパス

**1月** 大学入試センター試験

**8月** ハワイ研修

**2月  
3月** 一般選抜入試

**9月** 大学院入試  
看大祭  
開學20周年事業

**3月** 卒業式・修了式





## 沖縄県立看護大学

〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号  
TEL (098) 833-8800 (代表)  
FAX (098) 833-5133  
<http://www.okinawa-nurs.ac.jp>

---

編集：沖縄県立看護大学／大学広報委員会  
発行：2018（平成30年）3月